

親愛なる intacs e.V. メンバー、SPICE アセッサー、そして intacs® の友人の皆様！

コミュニティ内の最新動向を共有し、皆様との繋がりを深めるための「INTACS® ニュースレター」最新号をお届けします。今号では、エグゼクティブボードおよびアドバイザリーボードからの重要なアップデートをはじめ、INTACS® 語標の使用拡大、そして大きな節目となる INTACS® 創立 20 周年のニュースを特集しています。また、INTACS 会長である Peter Bölter 氏へのインタビューも掲載しており、組織のビジョンや方向性についてより深く掘り下げています。私たちは常にすべてのメンバー間で知識を共有し積極的な参加を促すことで、繋がりを育むことを目指しています。共に強固で協力的なコミュニティを築いていく中で、本ニュースレターが皆様にとって有益で、かつ刺激となることを願っています。

ぜひ、最後までお楽しみください！

INTACS® コミュニティの貴重な一員であることに感謝するとともに、引き続き皆様のご関心とご支援のほど、お願い申し上げます。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

INTACS® "情報管理"WG 一同

目次

エグゼクティブボードおよびアドバイザリーボードからのお知らせ	4
<i>INTACS® 20 周年</i>	4
<i>INTACS Peter Bölter 会長インタビュー</i>	5
<i>エグゼクティブボードおよびアドバイザリーボード年次総会報告</i>	6
<i>テスト SPICE およびデータ管理 SPICE(DMS)が、全課程にわたり独立した資格として確立予定</i>	7
<i>INTACS® ロゴ利用強化の理由</i>	7
<i>現況および統計</i>	8
<i>INTACS® ウェブサイトにて強化されたアセッサーステータス表記</i>	8
<i>手順書およびテンプレートの変更</i>	9
VDA AK13 からのお知らせ.....	9
各ワーキンググループ(WG)からのお知らせ	10
<i>新設“DASPI”WG</i>	10
<i>“データ管理 SPICE”WG</i>	10
<i>“メカニカル SPICE”WG</i>	12
<i>“サイバーセキュリティ PAM”WG</i>	12
<i>“SANSEI”WG</i>	13
INTACS® のカンファレンス出展予定.....	14
<i>INTACS® 東欧地域イベント</i>	15
<i>「黎明の火を灯す」エジプト開催の第 1 回 INTACS® 地域会議</i>	15
主な SPICE 関連カンファレンス	16
<i>日本 SPICE ネットワークカンファレンス (2026 年 9 月 14 日) @横浜</i>	16
<i>第 2 回 NASPICE カンファレンス (2026 年 9 月 29-30 日) @米国ミシガン州ノバイ</i>	17
<i>第 10 回 中国 SPICE ネットワークカンファレンス x 第 3 回 Asian SPICE カンファレンス (ASCON)(10 月 30-31 日)@上海</i>	17
<i>第 11 回 韓国 SPICE ネットワーク (KSN) カンファレンス (2026 年 11 月 12-13 日)@ソウル</i>	18
免責事項、商標および商号	18

商標	18
翻訳	19
ご意見およびフィードバック	19

エグゼクティブボードおよびアドバイザリーボードからのお知らせ

INTACS® 20 周年



2026 年、iNTACS e.V.はグローバルなプロセスアセスメント・コミュニティへの貢献において、20 周年という節目を迎えます。2006 年に設立された INTACS®は、独立した法的登録済みの非営利団体であり、INTACS® 認証体系の所有者です。


この 20 年間、私たちの使命は明確でした。ISO/IEC 330xx プロセスアセスメント標準に基づき、アセッサーやエキスパートのための高品質な教育と継続的な能力開発を通じて、アセスメント結果のばらつきを抑え、比較可能性を高めることで、アセスメントのパフォーマンスを向上させることです。

この節目は、何よりもコミュニティの成果です。世界中のボランティア、ワーキンググループ、インストラクター、認証機関、そしてアセッサーの皆様の継続的な献身、プロフェッショナリズム、そして協力を深く感謝いたします。この記念すべき年を祝うにあたり、私たちは開放的で透明性の高い運営、グローバルかつ多言語でのサポート、そしてスキームの継続的な進化へのコミットメントを再確認します。これにより、ますます複雑化しネットワーク化されるシステム開発をコミュニティが克服できるよう、引き続き支援してまいります。

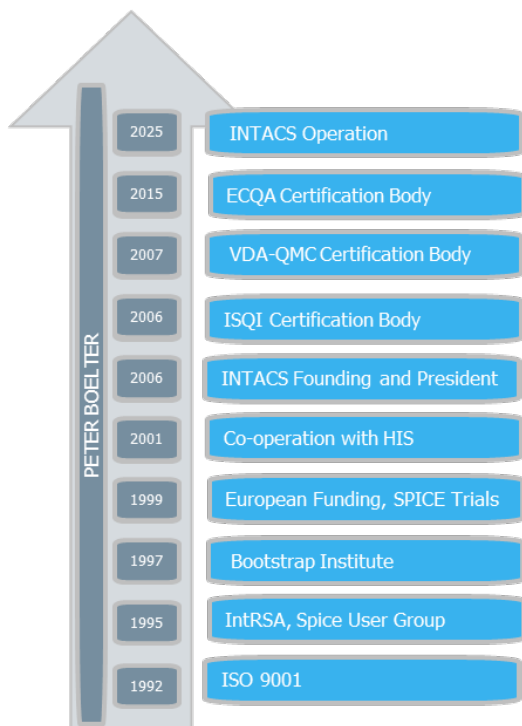
今後の INTACS® および INTACS® 認証体系に対し、どのような期待をお持ちでしょうか？

私たちはどのトピックを優先すべきか、何を改善すべきか、そしてアセッサー、トレーニング、さらには広くプロセスアセスメント・コミュニティにおいて、新たにどのようなニーズが生まれているとお考えでしょうか？

皆様の考えやアイデアをメールでお寄せください。皆様の意見が、次の章を形作る礎となります。

	<p>担当者：</p> <p>Thomas Kömmerling (thomas.koemmerling@intacs.info)</p> <p>情報管理 WG リーダー</p>
---	---

INTACS Peter Bölter 会長インタビュー



Q：プロセス最適化の世界において、あなたを突き動かす原動力は何ですか？また、2026 年に取り組みようとしている課題は何でしょうか？

A： 私は学生時代から注力すべき領域を見極める能力を養ってきました。この鋭い観察眼が常に私のモチベーションの源泉となっており、外部からの刺激を必要としたことはありません。私は 40 年以上にわたりプロセスの世界で活動しており、そのうち 37 年間は SQS に在籍し、1993 年の ISO 9001 の黎明期から様々な立場で携わってきました。時代とともに専門領域を適応させ、多様な文化圏で活動し、Bootstrap Institute、IntRSA、SPICE USER グループに参加した後、2005 年から 2006 年にかけて INTACS® の設立に参画しました。これらの多様な経験によって、自身の知識を共有し広めることができました。退職後も現役として活動を続けており、自動車および非自動車両方の分野で指導を行っています。




写真 1: Peter Bölter, INTACS 会長

Q： Automotive SPICE® 規格の成長について、どのようにお考えですか？

A： Automotive SPICE® 規格は、特に多様性の広がりグローバルな適応という意味において、順調に進化しています。SDV への移行は特に注目に値し、これは Automotive SPICE® 規格の核心的な焦点と完璧に一致しています。

Q： ピーターさん、あなたは INTACS® の創設メンバーであり、Bootstrap Institute、IntRSA、SPICE USER グループの参加者でもあります。次世代に伝えたいメッセージはありますか？

A： 私たちはグローバルなコミュニティとして、誠実さをもって連帯すべきです。個人の野心を優先させることなく、協力と協働を継続し、階級制度を超えて誰もが納得できる解決策を模索してください。そして、常に正直であることを忘れないでください。

	<p>担当者：</p> <p>Peter Bölter (peter.boelter@intacs.info)</p> <p>INTACS 会長</p>
---	---

エグゼクティブボードおよびアドバイザリーボード年次総会報告

INTACS のエグゼクティブボードとアドバイザリーボード、ならびにワーキンググループリーダーは、2026 年の第 3 週に年次総会を開催しました。今年の会議では、認証体系とその内容（AI など）の戦略的発展、技術に特化した新しいパートナーとの協力、そしてアジア市場への適応に焦点を当てました。

方法論とコミュニティの将来的な発展に関する様々なトピックが議論されました。2024 年に開始されたトレーニングプロバイダーとの個別面談は、2026 年も継続されます。もう一つの重要な点は、コミュニティ内で間近に迫っている世代交代です。メンバーの多くが 50 歳を超えているため、若手の育成が急務となっています。新たなワーキンググループや既存グループ内の小規模チームを編成することで次世代のリーダーを育成し、管理業務を段階的に担っていただく計画です。

AI が SPICE における主要なイノベーション・トピックとして提起されました。AI はすでに多くの組織で大きな役割を果たしており、既存モデルのさらなる発展や新モデル開発の機会を提供しています。議論されたもう一つの戦略的トピックはデータ管理です。車両のコネクティビティが高まるにつれ、データの取り扱いはますます重要になっています。

さらに、自動車業界以外の小規模・中規模の組織やコミュニティ（SME）をより効果的に支援する方法についても議論されました。ご関心のある方は、INTACS®事務局（office@intacs.info）までご連絡ください。

INTACS®は、中国を中心にアジアでの活動を拡大する予定です。この件に関しては結果がまとも次第、今後のニュースレターでお知らせいたします。INTACS®の長期的な成功にはイノベーションへの注力、若手才能の支援、そしてこれらの分野の推進が不可欠であると、参加者全員の意見が一致しました。



写真 2: ドイツ・ヴェルツブルクにて開催されたエグゼクティブボードおよびアドバイザリーボード年次総会

テスト SPICE およびデータ管理 SPICE(DMS)が、全課程にわたり独立した資格として確立予定

初のドメイン別コンピテントアセッサー

私たちは、ドメイン固有のアセスメント成熟度と重要性を反映させるため、INTACS®の教育および認証体系を進化させてまいりました。

テスト SPICE およびデータ管理 SPICE (DMS) は、今後それぞれ独立した一貫通貫のキャリアパスとなります。これにより志願者は ISO/IEC 330xx プロセスアセスメントの原則と要件に沿った形で、選択したドメイン内で「コンピテントアセッサー」や「プリンシパルアセッサー」へと直接ステップアップすることが可能になります。


つまり、ソフトウェア領域を必ず経由しなければならない「遠回り」が不要になり、単なる追加や拡張としての扱いではなくなることを意味します。その代わりに各パスにおいて、テストやデータ管理環境の実態に即した一貫性のあるカリキュラム、ターゲットを絞った学習成果、およびアセスメント経験が提供されます。これにより、役割が明確化され一貫した能力が保証されるとともに、これら専門分野に依拠する組織に、より良いサービスを提供できるようになります。

Test SPICE とデータマネジメント SPICE は、ISO/IEC 330xx の枠組みの下、基礎レベルからプリンシパルレベルまで真のドメイン専門知識を育成するために構築された、明確な構造を持つ完全に認められた独立したスキームとなります。

公式展開は 2026 年を予定しています。



写真 2: Thomas Sievers (DMS) [左]および Tomas Schweigert (テスト SPICE) [右]

	<p>担当者： Thomas Sievers (thomas.sievers@intacs.info) データ管理 SPICE WG リーダー</p>	<p>担当者： Tomas Schweigert (tomas.schweigert@intacs.info) テスト SPICE WG リーダー</p>
---	---	---

INTACS® ロゴ利用強化の理由

多くの皆様にとって馴染み深い INTACS ロゴというと、赤いバーがあしらわれたビジュアル・アイデンティティになるかと思います。このロゴは、今後も私たちにとって重要なアイコンであり続けます。

しかしながら、私たちのブランドを強力かつ長期的に保護するために、「INTACS®」という登録語標（ワードマーク）を明確かつ定期的に使用することが重要であると、商標弁護士より助言を受けました。商標法では、登録商標が積極的に使用されていること、およびその使用が文書で証明できることが求められます。これにより、商標の法的保護を確実に維持することができます。

このような理由から、今後は出版物、ウェブサイト、プレゼンテーション、および公式文書において、「INTACS®」という語標をより積極的に使用していく予定です。馴染みのあるロゴとは独立して表示されることも多々あるかと思ます。



写真 4: INTACS® 語標

パートナー、会員、およびユーザーの皆様には、表記上の細かい修正にご協力をお願いいたします。私たちのシステム、資料、または組織に言及される際は、可能な限り「INTACS®」という綴りも併せてご使用いただければ幸いです。

これにより、私たちのブランドが明確に識別可能で法的に保護された状態を維持し、同時にグローバルコミュニティの共有された品質基準を象徴し続けることができます。

皆様のご協力に感謝いたします。

現況および統計

ご存知でしょうか...

試験合格後の登録有効期限は最大 12 ヶ月です(VDA QMC®および ECQA®に適用)。この期間内に登録を行わなかった場合は、再受講および再受験が必要となります。詳細については、最新版の「手順書：認証基準(Procedure Certification Criteria) ([LINK](#))」をご確認ください。

INTACS® ウェブサイトにて強化されたアセッサーステータス表記

皆様からのフィードバックに基づき、ウェブサイトの「ユーザープロフィール」におけるアセッサーステータス情報の表記を、以下の通り分割いたしました：

エリア	情報
INTACS®	アセッサー資格ステータス、ワーキンググループ、エグゼクティブボード、アドバイザリーボード、その他
VDA-QMC® (Automotive SPICE®)	登録番号、資格有効期限、アセッサー資格種別、インストラクター種別、VDA-QMC 拡張資格、その他
ECQA® (ISO/IEC 330xx および IT サービスのための SPICE)	登録番号、資格有効期限、アセッサー資格種別、インストラクター種別、その他
追加情報 (オプション)	所属、住所 (プロフィールにご記入時のみ表示)

ユーザーアカウントの作成および保存において、アルファベットのみが使用可能となり、特殊文字は使用できなくなりました。

手順書およびテンプレートの変更

このセクションでは、最近公開された新しい INTACS® の手順書およびテンプレートについてまとめています。今後、新しく公開されるすべての手順書には、ドキュメントの「発行日」と「発効日」が記載され、その手順書に定められた新しいルールがいつから適用されるのかが明記されます。

手順書/テンプレート およびリンク	最新 Ver.	発行日	発効日	リリースノート（主な変更点）
INTACS 手順書：認 証基準 (Link)	V10.9	2026- 02-06	2026- 02-06	<ul style="list-style-type: none"> ポテンシャルアナリシスを新規登録および更新に必要な EE (アセスメント経験)として追加 プロビジョナルおよびコンピテントレベルのインストラクター認証基準の更新
INTACS 認証手順 (Link)	V1.4	2026- 02-09	2026- 02-09	<ul style="list-style-type: none"> ハイパーリンクの更新

VDA AK13 からのお知らせ

VDA QMC のワーキンググループ 13 (AK13) は、自動車業界におけるコスト削減の傾向を十分に認識しています。そのため、私たちは「Automotive SPICE® ガイドライン」の新版、および新しい「PRM/PAM v4.1」を準備いたしました。PAM における主な変更点は、付録 B の IIC リストに関連するものです。ガイドライン内では、範囲設定と評定の章が改訂されたほか、「長期メンテナンス」および「開発における AI の活用」に関する新しい章が追加されました。このガイドラインのイエローブック（草案版）は、2026 年 4 月に公開される予定です。

AK13 は、2026 年 6 月に開催される「VDA Sys Conference」に参加し、プレゼンテーションやワークショップを行う予定です。今回のカンファレンス費用は例年よりも抑えられており、敷居が下がります。

近年のアセスメント所要工数に対するへの議論や不満を受け、私たちは Automotive SPICE® をより効率的な方法で運用していく必要性を感じております。これには以下の内容が含まれます：

- 適切なプロセスを選択するためのスマートな範囲設定
- プラクティス単位ではなく、PA（プロセス属性）単位の評定
- クラス 3 アセスメントの実施（各要素につき 1 つのエビデンスを確認）
- 可能な場合にインタビューを 1 つのセッションに集約（例：SYS.4 と SYS.5）
- BP をチェックリストとして使うのではなく、自由回答式質問を活用する
- リードアセッサの裁量による、セッション当りインタビュー対象者数の制限

このようなやり方により、アセスメントが一層スマートで効率的となり得ます。皆様も次回のアセスメントでぜひ試してみてください。

各ワーキンググループ(WG)からのお知らせ


新設“DASPI”WG

新しい WG「DASPI (SPICE 実施のためのデータ分析)」が、先日公開された INTACS® ホワイトペーパーの著者である Mario Herberger 氏によって設立されました。本グループは、現場プロジェクトにおける運用データの活用を通じ、Automotive SPICE®に関するエビデンスインフラを強化することを目的としています。

DASPI の最大目標は、Automotive SPICE®を適用しているプロジェクトのデータを分析し、モデルの具体的な利点を実証することです。現在、これらの利点に関する根拠のある知見は、アクセス可能な運用データの不足により限定的なものに留まりがちです。DASPI は、修士論文の一環として実施された Automotive SPICE®の調査から得られた知見に基づき、このギャップを埋める取り組みを行います。

本ワーキンググループの主な成果物には、構造化された計画と手順の定義、データ収集に関連する成果物の特定、データベースに裏打ちされた評価手法の確立、データベースのアップグレード、パイロットプロジェクトの選定、そして究極的にはアプローチの実務への導入が含まれます。

DASPI はこのような構想を通じ、Automotive SPICE®に関する議論を理論レベルから、データに基づいた実証および測定可能なインパクトへと進化させることを目指しています。

	<p>担当者： Mario Herberger (mario.m.herberger@intacs.info) DASPI WG リーダー</p>
---	--

“データ管理 SPICE”WG

データにも多少の“スパイス”が必要

データ管理 SPICE の WG にぜひ参加ください!

最新版のデータ管理 SPICE がリリースされ、ダウンロード([Link](#))が可能となっております。また、このフレームワークが効果的に導入・運用されるように改善された教材も提供されています。

追伸：こちらは Mo 君です。彼は今後、データ管理 SPICE の教育コンセプトを担当するチームに加わる予定です。乞うご期待!



なぜデータはソフトウェアではないのか — 第 2 部

データとソフトウェアは、現代のデジタルシステムにおいてどちらも不可欠な要素ですが、その性質や機能、ライフサイクル、および使用方法において根本的に異なります。

ライフサイクル：

- **データ**は動的であり、絶えず生成、更新、または修正されます。データはさまざまな状態（未加工、加工済み、アーカイブ済み）で存在し、異なる文脈や段階で使用されます。その重要性は、「いつ、どのように使用されるか」と密接に関係しています。
- **ソフトウェア**は、設計、コーディング、テスト、デプロイといった構造化された開発ライフサイクルに従います。一度開発・デプロイされると、アップデートやパッチが適用されない限り、通常は静的な状態を維持します。

使用方法：

- **単一目的での使用**：ソフトウェアは通常定義された特定の機能のために設計される一方で、データは当初は一つの目的で収集されたものであっても、複数の分析ニーズに合わせて転用することが可能です。
- **多目的への適応性**：ソフトウェアに新しい機能を持たせるには再設計や再実装が必要ですが、データは元の構造を変えることなく、再利用、結合、または再解釈が可能です。
- **文脈への依存性**：ソフトウェアの機能は明示的にコーディングされますが、データの意味や価値は解釈や適用される文脈によって変わります。
- **修正 vs 再利用**：ソフトウェアを新しい目的のために変更するには開発工数が必要ですが、データは構造をほとんど変えずに、さまざまな方法で変換・分析できます。

総合的な比較：

- **データ収集 vs ソフトウェア開発**：データ収集は、多様なソースから情報を集めて整理することに焦点を当てますが、ソフトウェア開発は、特定の機能のための実行可能なソリューションを設計、コーディング、構築することを含みます。
- **データ処理 vs ソフトウェア実行**：データ処理は、多様な用途のためにデータを変換、分析、構造化することですが、ソフトウェアの実行は、特定のタスクや操作を実行するために定義済みのコマンドを走らせることです。
- **データの配信 vs ソフトウェアのデプロイ**：データの配信は、システムやユーザー間でデータを共有し、アクセス可能にすることです。一方、ソフトウェアのデプロイは、ターゲット環境へのインストール、設定、実行に焦点を当てます。
- **ユースケース**：データは分析、意思決定、モデルのトレーニングをサポートする一方、ソフトウェアは自動化、ユーザーインタラクション、プロセスの実行を可能にします。
- **所有権と責任**：データの所有権は情報へのアクセス、使用、および制御の権利に関わりますが、ソフトウェアの所有権はコード、ライセンス、およびメンテナンスの責任を規定します。

第 3 部は次回のニュースレターにてお届けいたします！

	<p>担当者： Thomas Sievers (thomas.sievers@intacs.info) データ管理 SPICE WG リーダー</p>
---	---

“メカニカル SPICE”WG

最新版メカニカル SPICE のリリース

過去数年にわたり主要 OEM や Tier1 サプライヤーにおいて 実施されてきた、数多くのメカニカル SPICE アセスメントを通じ、幅広い知見やフィードバックが得られ、メカニカル SPICE のさらなる向上のために継続的に評価され、役立てられています。

2026 年の初めに最新バージョンメカニカル SPICE PRM/PAM 2.1 が正式にリリースされ、INTACS®のウェブサイト ([Link](#)) よりダウンロード可能です。

さらなる改善に向けた皆様からのフィードバックやご提案をお待ちしております。ご意見は INTACS® チケットシステムを通じてお寄せください。

また、複数の公認トレーニングプロバイダーによってメカニカル SPICE アセッサートレーニングが提供されています。世界中の多くの認定 SPICE インストラクターが既に「トレイン・ザ・トレーナー(講師養成)」プログラムを完了しています。なお、認証は担当認証機関である ECQA®によって行われます。

	<p>担当者： André Zeh (andre.zeh@intacs.info) メカニカル SPICE WG リーダー</p>
---	--

“サイバーセキュリティ PAM”WG

Automotive SPICE® for Cybersecurity 교재 업데이트

2025 年 3 月「サイバーセキュリティのための Automotive SPICE® PAM 2.0」のリリースを受け、サイバーセキュリティ WG では最新 PAM に従った教材の改訂を行うために、組織再編を行いました。

幸いにも多くのボランティアメンバーが新規加入すると同時に、経験豊富なベテランメンバーも継続して活動を支援してくれました。効率的に作業を進めるため、章ごとに小規模なサブグループを編成し、各チームが既存の教材を精査して、最新版 PAM との整合性を確認しました。

「サイバーセキュリティのための Automotive SPICE® PAM 2.0」における主な変更点は以下の 2 点です：

- プロセスおよびルールを最新の Automotive SPICE® PAM 4.0 に合わせました。
- 特に用語に関し ISO/SAE 21434 との間で存在した不一致を 解消しました。

なお、PAM と ISO/SAE 21434 の間には依然としていくつかの相違点がありますが、これらについてはトレーニングの中で明示的に説明されます。

特に以下 2 つのプロセスについては、引き続き大きな課題として議論されました。

- MAN.7 (リスクアセスメント) : モデルの構造上、依然として MAN.5 との概念的な結びつきが強く残っています。これはモデルとしては理に合っていますが、実務への適用において混乱を招く恐れがあります。
- SEC.4 (サイバーセキュリティ妥当性確認) : このプロセスの適用における主な課題は、サイバーセキュリティゴールに明確に焦点を当て続け、Automotive SPICE® PAM 4.0 で定義されている一般的な妥当性確認プロセスと明確に区別することです。

OEM、Tier1&2 サプライヤーの代表者らが参加した WG 内での広範な議論を経て、具体的な例を交えながら共通理解の確立に努めました。

また、初心者が概念をより早く理解できるよう、TARA 演習も改善しました。Automotive SPICE® PAM 4.0 でいくつかのプロセスが削除されたことにより、既存プロセスとの相関性を扱う 3 日目のカリキュラムに余裕ができました。これにより、SEC.3 (サイバーセキュリティ検証) と SEC.4 (サイバーセキュリティ妥当性確認) により多くの時間を割けるようになっています。

ただし依然として、このトレーニングだけでアセッサーがサイバーセキュリティの専門家になれるわけではありません。アセッサーの皆様には、継続的な能力開発に努め、並行して他の情報源も参照することをお勧めします。

今後更なる教材の改善に向け、皆様からのフィードバックやご提案を歓迎いたします。

	<p>担当者 :</p> <p>Thomas Liedtke (thomas.liedtke@intacs.info)</p> <p>サイバーセキュリティ PAM WG リーダー</p>
---	---


“SANSEI”WG

IREB (国際要求工学委員会) と INTACS® の連携 : 要求工学と自動車プロセスの卓越性が融合

IREB は、自動車業界におけるソフトウェア品質のためのモジュール型資格体系を構築すべく、INTACS® との共同イニシアチブに要求工学の専門知識を提供しています。この連携の目標は、プロセス品質と要求工学の分野にて確立された能力を、実践的かつ役割ベースの学習フレームワークの中で結びつけることにあります。

IREB にとってこの連携は、実績のある CPRE (認定要求工学専門家) の内容を、複雑な自動車業界の文脈においてさらに価値あるものにするための重要なステップです。また INTACS® にとっては、アセッサーやプロセスエキスパートが最も必要とする基礎、すなわち、より鋭利なアセスメントを実施し、より効果的なプロセス改善を推進するために不可欠な「確固たる要求工学の能力」を強化することに繋がります。

要求-プロセス-アセスメント間の結びつきを強めることは、専門家が専門分野を超えて共通の理解を築く助けとなり、開発プロジェクトの品質向上に寄与します。

	<p>担当者： Dr. Isabella Stilkerich isabella.stilkerich@intacs.info Systems and Software-Engineering Education Initiative WG リーダー</p>
---	---

INTACS® のカンファレンス出展予定

下記 SPICE 関連カンファレンスにて、INTACS®ブースへぜひお立ち寄りください：

カンファレンス	情報
VDA SYS	VDA Automotive SYS カンファレンス 2026 (Link) 車載ソフトウェア基盤システムのための品質、安全およびセキュリティ 2026 年 6 月 23 日-25 日@ドイツ・ポツダム
EuroSPI	第 33 回 EuroSPI (Link) 2026 年 9 月 8 日-10 日@エジプト・カイロ・ギザ台地、ナイル大学
NASPICE	第 2 回年次 NASPICE カンファレンス (Link) 2026 年 9 月 29 日-30 日@アメリカ・ミシガン州・ノバイ、パイブ・クレディユニオン・ショープレイス (旧サバーバン・コレクション・ショープレイス)
VDA SYS China	第 9 回 VDA Automotive SYS®カンファレンス China (Link) 2026 年 10 月 27 日-29 日@上海
ASCON	第 3 回 ASCON & 第 10 回 CSN (中国 SPICE ネットワーク) (リンク未設置) 2026 年 10 月 30 日-31 日@上海

INTACS® 東欧地域イベント

昨年、オン・オフライン合わせて 120 名以上が参加し、大きな成功を収めた「第 1 回 INTACS® 中東欧地域イベント」に続き、オーストリア、ブルガリア、クロアチア、チェコ共和国、ハンガリー、ルーマニア、セルビア、スロベニアの地域代表一同は、2026 年 5 月 19 日にオンラインで開催される地域イベントへ皆様をご招待できることを、大変嬉しく思います。

このイベントは、地域の SPICE ネットワークの専門家らが一堂に会し、知見の交換、現在の課題についての議論、および SPICE に関連する多様なトピックについての経験を共有する場となります。

今回のプログラムも例年通り INTACS®WG や地域の自動車サプライヤーからのプレゼンテーションにより構成される予定です。

参加費は無料ですが、出席には事前の登録が必要です。なお、本地域のコミュニティメンバーが優先されます。

詳細についてはこちらをご覧ください：<https://intacs.info/spice-news-reader/spice-networks/intacs-reg-event>

「黎明の火を灯す」エジプト開催の第 1 回 INTACS® 地域会議

新興地域とエコシステム全体を繋ぐ、SPICE コミュニティに黎明の火を灯す、歴史的な集い。



写真 3: INTACS® 地域会議の案内 (AI 生成)

Automotive SPICE®の世界的な勢いの高まりに歩調を合わせ、INTACS®コミュニティは EuroSPI 2026 カンファレンス期間中にエジプトで初となるエジプト地域会議を開催することを、高らかに発表いたします。この記念すべきイベントは、単なる

一地域での集まり以上の意味を持ちます。つまり、エジプト、中東、北アフリカおよびアフリカ（MENA & アフリカ地域）全体にわたる、構造化され持続可能な Automotive SPICE® コミュニティが産声を上げた瞬間と言えます。

今回初めて、これらの地域のアセッサー、専門家、および実務者らが一堂に会し、知識の交換、アセスメント経験の共有、そして多様な産業環境における Automotive SPICE® の進化について議論するためのユニークなプラットフォームが構築されます。この会議は、すべての INTACS® 認定アセッサーおよび関係者に開かれており、経験豊富なプロフェッショナルとこの分野の新たな才能の両方が積極的に参加しやすい、懐の深い場となるべく設計されています。

この構想は、地域のエコシステムを強化し、プロセス改善の専門知識を世界中でアクセス可能かつ継続的に進化させるという INTACS® の確たるコミットメントを反映しています。エジプトをこの最初の地域会議の中心的な拠点とすることで、長期的なコラボレーションに火を灯し、強力なローカルネットワークを構築し、INTACS® の影響力を成長著しい新市場へと広げることを目指しています。

将来的には、この集まりが定期的な地域フォーラムの基盤となり、湾岸諸国、アフリカ、そしてより広い中東・北アフリカ (MENA) 地域における今後の INTACS® 主導の活動への道を開くことが期待されています。これは、より繋がりが強く、権限を与えられ、知識主導型の Automotive SPICE® コミュニティ、すなわちグローバルな規模でソフトウェアとシステムの品質の未来を形作ることに積極的に貢献するコミュニティの舞台を整えるものです。

詳細な計画については近日中にお知らせいたします。続報をご期待ください!

	<p>担当者： Samer Sameh (samer.sameh@reg.intacs.info) INTACS エジプト地域代表</p>
---	--

主な SPICE 関連カンファレンス


日本 SPICE ネットワークカンファレンス (2026 年 9 月 14 日) @横浜

参加費：NSPICE 会員 1 万円 / 非会員 2 万円

想定参加人数：100 名

スポンサープログラム：プラチナ 30 万円 / ゴールド 20 万円

講演の通訳は「英語から日本語」のみの提供となります。

	<p>担当者： 萩原和彦 (kazuhiko.hagiwara.j3e@jp.denso.com) 日本 SPICE ネットワーク副会長</p>
---	--

第 2 回 NASPICE カンファレンス (2026 年 9 月 29-30 日) @米国ミシガン州ノバイ

今年のカンファレンスは、例年にも増して特別なものになりつつあります! NASPICE 2026 では、Automotive SPICE の多岐にわたるトピックに新鮮な洞察をもたらす、卓越した基調講演者のラインナップが揃いました。自動車 OEM や Tier1 サプライヤーに加え、複数の半導体関連企業からの発表も予定されています。

既に基調講演者が確定しております：

- Ioana Teodoreanu 氏 (ガバナンスプランニング責任者 - AUMOVIO)
- Tara Vatcher 氏 (ソフトウェア開発 & アーキテクチャ担当 グローバル SVP - Stellantis)
- Jan Morenzin 氏 (Automotive SPICE 担当 VDA QMC 認証オフィス責任者 - VDA QMC)
- Lars Dittmann 氏 (マネージングディレクター - iNTACS)
- Farhang Farahy 氏 (品質 & オペレーショナル・エクセレンス担当 副社長 - BorgWarner)
- General Motors (ゼネラルモーターズ) による基調講演

論文の投稿数は昨年より 33% 以上増加し、カンファレンスへの参加を希望する新規組織も 40% 以上増えており、テクニカルプログラムはかつてないほど深く多様なものになるでしょう。また、参加者の皆様にとっては、SPICE コミュニティの専門家仲間とネットワークを築く絶好の機会となります。

NASPICE は、カンファレンスにて多くの皆様にお会いし、北米全域における SPICE の導入と卓越性に向けた機運をさらに高めていくことを楽しみにしています。

カンファレンス参加費： 1150 ドル

ウェブサイトの内容については、こちらをご確認ください：[NASPICE | 2nd North America SPICE Conference](#).

	<p>担当者: Juan Webb (jwebb@omnex.com) INTACS 米国地域代表</p>
---	---

第 10 回 中国 SPICE ネットワークカンファレンス x 第 3 回 Asian SPICE カンファレンス (ASCON)(10 月 30-31 日)@上海

私たち中国 SPICE Network (CSN) は、10 月 30~31 日の 2 日間、上海にて「第 10 回 CSN カンファレンス x 第 3 回 ASCON」を開催することを、喜んでお知らせいたします。

参加費： 無料

想定参加人数： 200 名

スポンサープログラム： プラチナ 8 万 RMB / ゴールド 5 万 RMB / シルバー 3 万 RMB

本カンファレンスでは、中国の主要 OEM や Tier1 サプライヤーによるプレゼンテーションを予定しています。また、コーヒープレイクやランチセッションなどの多様なネットワーキングの機会を通じ、参加者、講演者、スポンサーの間で活発な情報交換や相互触発を育めるよう、細心の注意を払って設計されています。

詳細は追ってお知らせいたしますので、乞うご期待!

	担当者： 王軼群 (wang@umovcom.com) INTACS 中国代表および第 3 回 ASCON 議長
---	---

第 11 回 韓国 SPICE ネットワーク (KSN) カンファレンス (2026 年 11 月 12-13 日)@ソウル

想定参加人数：400 名

韓国語と英語間の双方向同時通訳が提供されます。

	担当者： 蔡光浩 (chekwangho@quantumassoc.co.jp) iNTACS 韓国代表および KSN 議長
---	--

免責事項、商標および商号

ニュースレターの登録やキャンセルは、intacs.info にログイン後、「プロフィール編集-ニュースレター/言語」にて行えます。

商標

商標の使用に関し、各パートナーと合意した以下の詳細についてご留意願います。

intacs®、Agile SPICE®、Automotive SPICE®、VDA® QMC®、ECQA® は登録商標です。左記商標および関連ロゴの使用は、いかなる種類の証明書にも使用が禁止されています。

他の目的でロゴを使用する際には、必ず事前に当該権利保有者から書面による承認を得る必要があります。いかなる違反もアセッサー資格の喪失や、法的措置を引き起こす可能性があります。

アセッサー資格認証の初回および更新申請の際に署名される「アセッサー資格認証申請書」中の記述にもご留意願います。



この文書で使用されている商標：

- Automotive SPICE®, ASPICE®, VDA® および QMC® は VDA Verband der Automobilindustrie e.V., 10117, Berlin, DE の登録商標です。
- ECQA® は Reiner, Michael, 3552, Dross, AT の登録商標です。
- iNTACS®, intacs® および Agile SPICE™ は International Assessor Certification Scheme e.V. (intacs e.V.), 51147, Köln, DE の登録商標です。

翻訳

すべての翻訳は正式版である英語版ニュースレターに基づいています。英語版並びに全翻訳版とも intacs e.V.の著作物です。

本ニュースレターを翻訳してくださった翻訳者の方々に感謝申し上げます。

	<p>中国語翻訳者： Yawen (Evan) Hou (qchaier@126.com) iNTACS “情報管理”WG メンバー</p>
	<p>日本語および韓国語翻訳者： 蔡光浩 (chekwangho@quantumassoc.co.jp) iNTACS 韓国代表</p>

ご意見およびフィードバック

皆様からのフィードバックをお待ちしております！ 下記メールアドレスまで、ぜひご連絡ください。

よろしくお願いいたします。

Thomas Kömmerling & “情報管理”WG より

	<p>担当者： Thomas Kömmerling (thomas.koemmerling@intacs.info) iNTACS “情報管理”WG リーダーおよびアドバイザーボードメンバー</p>
---	--

International Assessor Certification Scheme e.V. (INTACS e.V.), Herderstr. 7, 51147 Köln, Germany